

2024 年度安全重点目標 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)

【行動目標】

『バック事故はプロの恥、体をひねって2秒間の目視を徹底しよう!』

【成果目標】

- ・バック事故の撲滅⇒グループ全体で年間 250 件以内に抑える (前年 330 件)

【行動目標】

『睡眠時間最低 7 時間の確保、出庫時の血圧測定により健康起因事故を防ごう!』

【成果目標】

- ・健康起因事故の撲滅⇒グループ全体で年間 0 件に抑える (前年 0 件)

(3) 年間スケジュール

月別	乗務員への基本教育項目	特別指導・イベント関連	事業所教育	安全運転1箇条月間目標
4月	①年度安全重点目標の周知徹底	△春の交通安全運動実施 △GW期間の安全注意喚起		1.二輪道路で45km/h走行、乗用道路で40km/h以上出ない 【バックハズ運動推進】 ⇒交通事故、その他の事故防止、疲労軽減、運収向上のため
5月	②法令・基本ルールの教育 道路交通法、運転規則、安全運転規則、代行運転時のルール、安全運転12箇条	△前年度事故個人表彰・前年度下半期表彰発表		2.走行者の逃す視界の無い確認歩道では、積載に停止して横断 ⇒横断歩道上の事故防止、横断歩道に対する意識強化
6月	③車両点検による事故防止 サイドブレーキの機能、タイヤ・ライトの点検等	△高齢乗務員(70歳以上)指導記録提出(4月～6月実施) ※提出期間 7月10日(水)		3.車間距離5.3秒以上確保する ⇒交通事故、その他の事故防止、疲労軽減、運収向上のため
7月	④急降予測及び回避教育、ドラレコの活用 ドライブレコーダーを活用したKYT実施、映像抜き出しチェック、正業起動の確認 ヒヤリ体験の実施、上りハット地点の選定	△事故撲滅リマーカーキャンペーン・夏の全国交通安全運動実施(7月～8月) △ドラレコによる指導推進(7月～8月)	ドラレコによるシートベルト着用確認	4.空車時は左車線を走行する ⇒道路変更時事故の防止、運収向上のため
8月	⑤乗務員の健康の安全を確保するために留意すべき事項の周知 シートベルト着用、ハンズフリー、ながら運転の禁止等	△事故撲滅リマーカーキャンペーン △8月5日感謝の日＝「絶対無事故の日」	シートベルト着用確認	5.停止線では積載に停止し、「わいとどみ、二段階で降りる」 ⇒出発時事故の防止
9月	⑥乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項の周知 安全な位置への降車、高齢・障害者への対応等	△秋の全国交通安全運動実施 △高齢乗務員(70歳以上)指導記録提出(7月～9月実施) ※提出期間 10月10日(水)	乗降確認	6.乗降時では、シフトレバーをNかPにして、サイドブレーキを掛ける ⇒停止状態からの追突事故、釣られ発進事故の防止
10月	⑦乗用自動車の構造上の特性理解 視点、死角、内輪差、停止距離、LPG自動車の特性		乗降確認及び指導	7.駐車場ではバック付けし、お客様には横付けする ⇒バック事故の防止
11月	⑧高齢乗務員指導 65歳以上の乗務員への指導指導、運転診断・健康診断結果に基づき指導等の強化	△上半期表彰発表	乗降確認のチェック	8.急制動の推奨し、確認で、急発進時やバック事故を防止 ⇒急発進時事故、バック事故の防止
12月	⑨飲酒運転の防止	△年末年始の交通安全事故撲滅キャンペーン・年末年始の全国交通安全運動実施(12月～1月) △SAG一斉検査推進(12月～1月) △年末年始期間の安全注意喚起 △高齢乗務員(70歳以上)指導記録提出(10月～12月実施) ※提出期間 1月10日(金)	乗降確認及び指導	9.夜間は積極的にハイビームを活用する ⇒夜間の飛出し歩行者等との事故防止 △LEDライトの推進
1月	⑩健康起因事故の防止 健康診断の個人面談、二次診断のチェック	△年末年始の交通安全事故撲滅キャンペーン実施	乗降確認	10.Uターンはハイリスク、しない方法を選択する ⇒Uターン事故の防止
2月	⑪乗務員の運転適性に応じた安全運転 運転診断、一般診断の受診チェック		乗降確認	11.出庫前にチャイルドロックを掛けドア開放事故を防止 ⇒幼児転落事故、後継車とのドア開放事故の防止
3月	⑫緊急時の対応教育 事故発生時の対応、ひき逃げの罰則など	△次年度安全重点目標作成、安マネ周知物作成 △高齢乗務員(70歳以上)指導記録提出(1月～3月実施) ※提出期間 4月10日(水)	乗降確認	12.お客様にシートベルト着用を声掛けし経路の確認を行う ⇒乗客の人身事故、行き過ぎバック事故の防止

2024 年 4 月 1 日

安全統括管理者 奥井 博善

